

ハラハラ・ドキドキ・裏方ボランティア物語

えにし結び名簿の左端に★印がついた老若男女。MSW、PSW、PT、OT、介護福祉士、医師、医療事故の遺族、癌サバイバー、大学教授、ビジネスマン、ジャーナリスト……。多彩な顔ぶれの共通点は、たった1つ。国際医療福祉大学大学院の医療福祉ジャーナリズム分野を「ふるさと」と思っている裏方ボランティアの院生、卒業生です。最初の10年は、仙台に拠点のあるNPO、全国コミュニティーライフサポートセンター（CLC）の方々が、一肌脱いで裏方をつとめてくださっていました。ところが、東日本大震災。「人は乱世にボラになる」の法則どおり、院生卒業生が立ち上がりました。CLCの方々からノウハウを教えていただき、不慣れな世界へと漕ぎだしたのです。

☆映像配信 & ツイッターボラ

2010年から、実験的にUstream配信が始まりました。苦勞するのは電波。プレスセンターも、夜の安い会場を求めて毎年流浪する第3部も、地下だったり、なぜか、電波の入りが悪かったりし、生中継はトラブルが多く心苦しい限りです。でも、海外にいらっしゃる「えにし」の方や当日会場に来られない方から温かいお言葉を頂くたびに、「次こそはもっといいものを！」という気持ちで臨んでいます。生中継の映像は、後日、Youtubeで見え頂けるようにアーカイブしております。URLのご案内は、えにしメールで。過去の映像は enishi-kids.com にまとめてリンクされています。

☆資料配布ボラ

お手元の手提げの中に資料は、見本をお送りいただき、封入の順番を考え、細かい確認作業があるので一覧表完成は、当日の未明。朝10時には「袋詰めボランティア」を志願してくださった方々が会場に到着集合。送られてきた段ボール約50箱を開いて、セットしていきます。届くはずの資料が届かないこともしばしばで、ハラハラドキドキの連続ですが、それでも、膨大な資料400セットを1時間で終わらせるという離れ業に毎年成功(*^-^*)。資料袋の山は相当な重さになり、開始前から汗だくでの作業です。それでも「疲れより充実感でいっぱい」「来年もボランティア志願します」という声も飛び交い、皆様の貴重な思いを、資料袋の中に込めてお届けしています。

☆プログラムづくりボラ

かつては、CLCの方が当日未明まで無料奉仕で印刷し、インクが乾いたところで

仙台から運んできてくださったのですが、いまは、この道のプロの卒業生がレイアウトし、印刷はプロに。入稿が遅れると、とたんに値段が跳ね上がるので、徹夜仕事になるのは同じです。ことしは「えにし」のみなさんから、伝えたい思いの詰まった原稿が予測をはるかに超えて次々届き、2冊あわせて92ページにもなるという前代未聞の事態になり、用紙の手配が間に合うかひやひやでした。超ご多忙の中、印刷に耐えうる解像度の写真や細々したデータをお送りいただき、保存版の資料となるよう協力していただきました。

★名簿&胸の名札作り&満員御礼判定ボラ

当初はCLCの方たちが、手紙と返信ハガキをいれ、発送までひきうけてくださっていたのですが、いまはすべてメールで受信。えにしメールでお知らせすると、その日のうちに100人を超える申し込みが殺到します。必死でコピペし、エクセルに転記し、同時に、昼の部・夜の部の定員に達するかどうかを常にカウントします。キャンセル率が、極めて低く、みなさんが年に一度のこの企画を楽しみにしておられるのが、ひしひしと伝わってきます。印刷前に、参加者に名簿のPDFファイルを作成して確認メールを発送します。ところが、ご自身が記入された公開メールアドレスにミスがあるケース多く、エラーメールがかなりの数戻ってきて悪戦苦闘します。最終名簿から受付名簿を作成し、名札をプリントアウト。去年はウィンドウズ8に更新してトラブル続出、パソコンが壊れるというアクシデントで最悪の事態でした。でも、綺麗に出来上がった名簿や名札を見て、ひとりにんまりしています。

★受付まわりなど、もろもろ

会計、受付周辺の細々した仕事、会場案内、書籍販売、登壇者のお迎え、PCやプロジェクター周りのセッティングと操作、記録写真・映像、情報保障、全体統括。席をくじ引きで決め、名札も着けていただくため、お待たせしないために、事前打ち合せを重ねながら当日に臨みます。お釣りの1000円札をたくさん準備。掲示物、トイレのこと、もし雨の場合のタオル準備などなど、細かなことにも話が及びます。

事前には、会場の手配と交渉、横断幕の作成手配、登壇者垂れ幕など各種表示サインの手配、周辺のレストラン事情の調査、保育サービスの手配も。会の終了後は記録音声の文字起こし、写真の整理からウェブサイトへのアップ、動画の整理と公開……。イベントのプロとはほど遠いメンバーが、指揮命令系統があるようでない、ファジーな体制のなか、「思い」だけで進行にあたっていますので、数々の不行き届きがあるに違いありません。次回の改善に役立てさせていただきますので、どうかご助言をお寄せください。